

奈良県感染症情報

平成 28 年 14 週(4 月 4 日～ 4 月 10 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	4.94	(9.98)	↓	↓	↓	↓
2	感染性胃腸炎	4.88	(5.79)	→	↗	↘	↓
3	流行性耳下腺炎	1.74	(2.74)	→	↑	↓	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	1.21	(1.56)	↘	→	↘	↓
5	突発性発しん	0.65	(0.24)	↑	↑	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点あたり患者報告数はさらに減少し、近府県すべてでインフルエンザ警報は解除されました。インフルエンザのシーズンは終盤を迎えています。定点あたり報告数が 1.0 を下回るまでは油断できません。引き続き感染予防を心がけてください。

春はロタウイルスによる感染性胃腸炎が増える時期です。ロタウイルスに感染した乳幼児は便が白っぽくなる場合があります。下痢によって脱水症状になることがあるため、しっかりと水分補給をすることが大切です。また、症状がよくなった後しばらくの間は便中にウイルスが排出されます。トイレ後の手洗いや、おむつの交換の後にもしっかりと手洗いをしましょう。

4 番目に報告数の多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(A 群溶連菌咽頭炎)は、例年 4 月の中旬ごろから増え始め、6 月にピークを迎える疾患です。昨年 11 月以降、例年より高いレベルで推移しています。うがいや手洗いで感染予防に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは毎週半減してきており、次週にはほぼ無くなりそうである。現在は B 型ばかり検出されている。流行性耳下腺炎の流行が続いており、小学生から保護者までみられる。感染性胃腸炎はロタウイルスが多いようだが、ワクチンの普及で症状は軽く以前のような流行になる気配はない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は減少。

インフルエンザは激減し B 型がわずかに見られる程度で終焉まじかと思われる。

感染性胃腸炎の流行が持続。幼児から年長児にロタ陽性例が見られる。

乳児では見られない。

他に A 群溶連菌感染症がわずか。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 14 週 4 月 4 日 ~ 10 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	267 (4.94)	52 (4.73)	106 (6.63)	42 (3.82)	50 (4.55)	10 (5.00)	7 (2.33)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	3 (0.09)	1 (0.14)		1 (0.14)	1 (0.14)			
咽頭結膜熱	7 (0.21)		3 (0.30)	3 (0.43)	1 (0.14)			
A群溶連菌咽頭炎	41 (1.21)	6 (0.86)	10 (1.00)	8 (1.14)	17 (2.43)			
感染性胃腸炎	166 (4.88)	34 (4.86)	73 (7.30)	26 (3.71)	33 (4.71)			
水痘	13 (0.38)	7 (1.00)	3 (0.30)		3 (0.43)			
手足口病								
伝染性紅斑	13 (0.38)	3 (0.43)	8 (0.80)	2 (0.29)				
突発性発しん	22 (0.65)	7 (1.00)	7 (0.70)	6 (0.86)	2 (0.29)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	1 (0.03)	1 (0.14)						
流行性耳下腺炎	59 (1.74)	7 (1.00)	41 (4.10)	4 (0.57)	7 (1.00)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.33)			3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3 (0.50)		3 (1.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市1、郡山2、中和3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病1件(郡山)

❖ 第14週のトピックス ❖

奈良県保健予防課HP(季節性インフルエンザ関連情報)

<http://www.pref.nara.jp/9995.htm#itemid33613>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男		1	8	8	5	3	11	8	3	4	5	19	9	7	7	9	9	6	6	3	131	7559
	女		3	8	7	6	7	10	9	5	6	2	12	8	5	9	11	8	11	6	6	2	136
RSウイルス感染症	男		1																			1	134
	女		1	1																			2
咽頭結膜熱	男		1	1	1						1											4	81
	女		1		1																	3	85
A群溶連菌咽頭炎	男			3	2	2	2	4	2	1		1										17	462
	女		1	1	4	6	3		3	3		1	2									24	419
感染性胃腸炎	男		4	19	17	8	10	6	5	3	6	1	3	4	9							95	1451
	女		1	6	18	8	8	7	2	3		1	10									71	1319
水痘	男				2	1	1		1				3	1								5	75
	女											3			1							8	53
手足口病	男																						2
	女																						1
伝染性紅斑	男							2		2				1								5	166
	女						3	1	3	1												8	145
突発性発しん	男		4	6	1																	11	106
	女		4	5	2																	11	99
百日咳	男																						3
	女																						
ヘルパンギーナ	男						1															1	2
	女																						1
流行性耳下腺炎	男		1	2	4	2	4	9	3	1	6	1	5	1								39	340
	女			1	3			2	2	4	2	3	3									20	271
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男															1						1	17
	女															1						2	21
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男								1													1	37
	女																						37
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男				1																	1	43
	女			1																		2	32

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

